

1 システム要件

CPU	PentiumII 400MHz 相当以上
メモリ	128MB 以上
OS (右記のいずれか)	Microsoft Windows 2000 Professional Microsoft Windows XP Professional Microsoft Windows XP Home Edition
アプリケーション (右記のいずれか)	Microsoft Excel 2000 Microsoft Excel 2002

2 基本操作

2-1 雛形ファイルについて

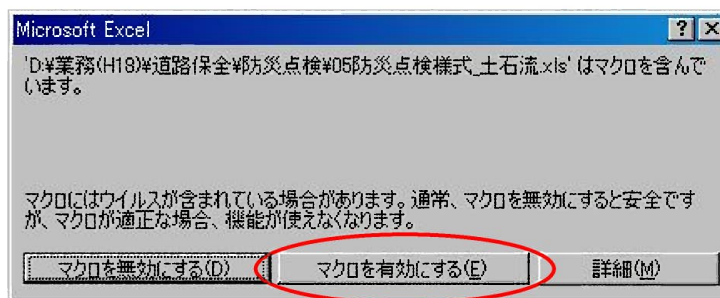
今回提供する防災カルテ点検データ入力用ファイル（雛形ファイル）は以下の通りです。

- ・ 01 防災カルテ様式_落石・崩壊.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C・様式D・現状記録写真)
- ・ 02 防災カルテ様式_岩盤崩壊.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C・様式D・現状記録写真)
- ・ 03 防災カルテ様式_地すべり.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C・様式D・現状記録写真)
- ・ 04 防災カルテ様式_雪崩.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C (無雪期・降雪期)・様式D・現状記録写真)
- ・ 05 防災カルテ様式_土石流.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C・様式D・現状記録写真)
- ・ 06 防災カルテ様式_盛土.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C・様式D・現状記録写真)
- ・ 07 防災カルテ様式_擁壁.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C・様式D・現状記録写真)
- ・ 08 防災カルテ様式_橋梁基礎の洗掘.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C・様式D・現状記録写真)
- ・ 09 防災カルテ様式_地吹雪.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C (無雪期・降雪期)・様式D・現状記録写真)
- ・ 10 防災カルテ様式_その他.xls (防災カルテ様式A・様式B・様式C・様式D・現状記録写真)

2-2 入力の開始

配布した雛形ファイルをデスクトップなどに別名で保存してください。別名で保存したファイルをダブルクリックすると Microsoft Excel が起動します。

以下のような画面が表示されるので、[マクロを有効にする(E)]をクリックしてください。



(ダブルクリックしてもファイルが開かない場合は、Microsoft Excel を起動してからメニューの「ファイル」→「開く」で表示されるウィンドウから別名で保存したファイルを指定してください。)

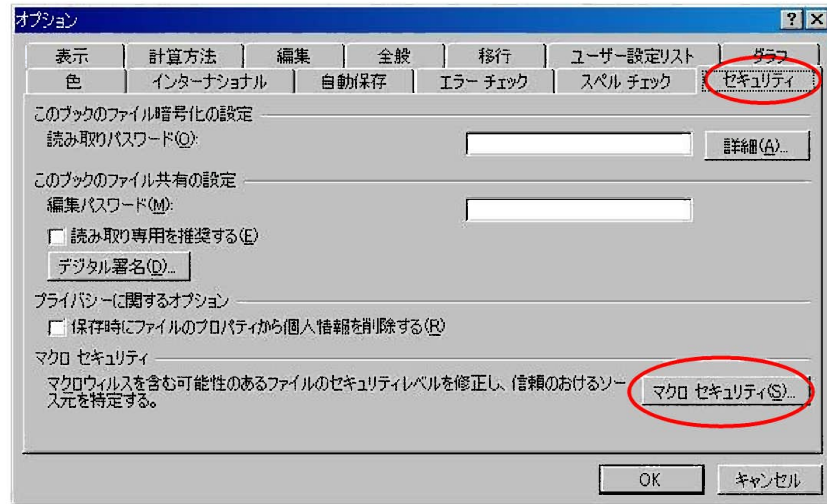
セキュリティが「高」に設定されており、マクロが実行できない場合はこのようなメッセージが表示されます。



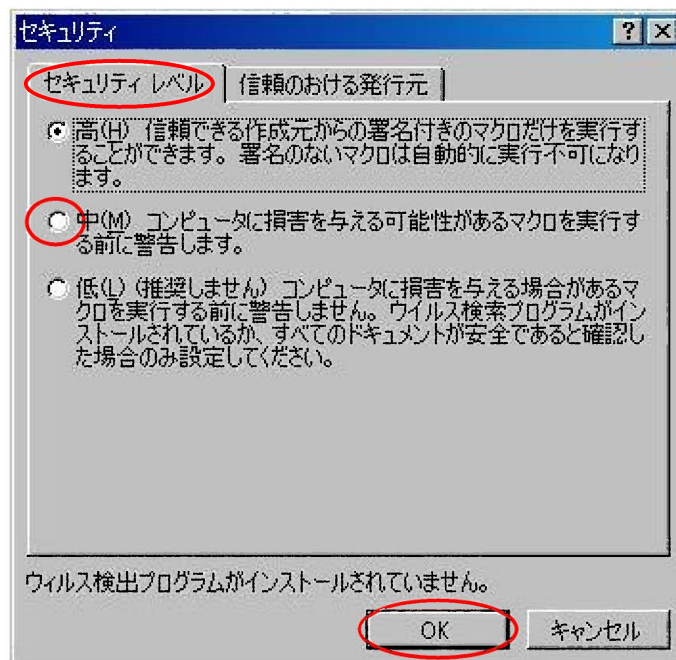
OK をクリックし、一旦ファイルを閉じた後、セキュリティについて以下を実施してください。

ファイルは開かずに Microsoft Excel のみを起動し、メニューから「ツール」→「オプション」を選択します。

表示された画面の「セキュリティ」タブをクリックし、[マクロセキュリティ]ボタンを押してください。

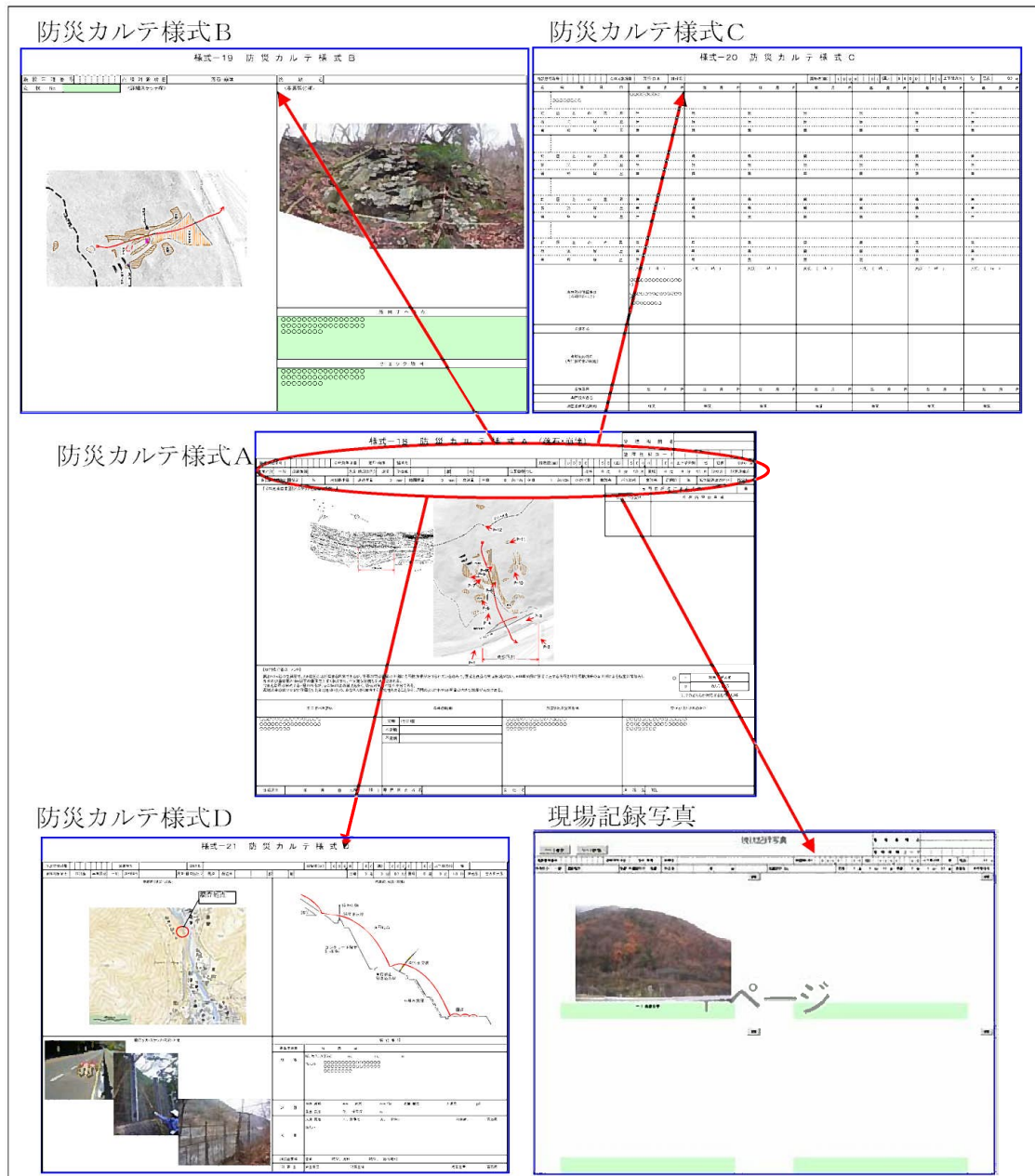


セキュリティの画面が表示されるので、「セキュリティレベル」タブをクリックし、レベルを確認してください。「高」になっている場合は、「中」に変更してください。「中」に変更後、OK ボタンを押してください。



2-3 入力の流れ

各点検対象項目の防災カルテ様式Aの部に入力した諸元項目は同一ファイル内の他の様式にも反映されます。



<注意>

マクロやセルに含まれる計算式は書き換えしないでください。

ファイル名については任意ですが、各管理下における命名規則に従い、重複しないように注意してください。上位管理機関で一括管理することを留意し、特に同一路線で隣接した事務所など間でのファイル名の重複に注意してください。